

令和5年3月31日

令和4年度 自己評価結果報告

広瀬共栄幼稚園
園長 竹下 栄一郎

1. 本園の教育目標

「情操豊かでたくましい子ども」
家庭教育環境と幼稚園の差は、社会性の有無にあると考える。「家族中心の関係性」から「他人を含めた関係性」へとステージがあがり、大人（教諭）を含めた関わり合いが広がる。それに伴い、家庭内での経験とは勝手や様子が異なることを園児が学び取り、他人との共生や自己の確立を成す教育環境を提供する。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

行事（運動会や発表会等）や園活動を通じて、以下の成長を促す。
・自分の思い通りに体を動かせるこども
・お友達と協働できるこども
・達成感を得ることができるこども

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
本年度の園の重点目標を教職員間で確認し実践する。	B	職員研修にて目標の確認を行い理解は得られたが、日々の教育カリキュラムまで落とし込めていないと感じる。
安全な教育環境を目指し事故を未然に防ぐ取組を行う。	A	遊具点検や避難訓練を定期的に行っている。また、年4回の職員研修にてヒヤリハットの棚卸を行い、顕在化していない危険について検討した。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	B	令和4年12月の職員研修にて外部講師を招き、虐待研修を行った。今後も外部講師による研修を増やしたい。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	A	年度の保護者アンケートだけでなく、各行事が終わるたびに保護者から意見を募り、翌年度以降の指針とするようにした。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	昨年度は当園自粛等でできなかった行事も、本年度はすべて実施することができた。しかしながら、体力の低下も感じさせる場面が多くあったので、来年度以降の取り組みに反映させたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全な教育環境の提供	園に潜む危険性を職員全員で確認し事故を未然に防ぐ。特に新入園児の安全に気を配る。また、避難訓練を通じて万一の自然災害や様々な危険に対して、職員を含めた準備を怠らない。
保護者の満足度向上	本年度は親子行事としてしいたけのコマ打ちを実施した。来年度以降も親子で触れ合える園行事を企画する。また保護者同士で親睦を深められるように、PTAと連携を図る。
研修の横展開	年3回の職員研修時に、園外研修での内容を伝達する機会を設ける。